

「知ってワクワク！春の植物さがし」開催レポート

令和6年04月20日（土） 元漕江公園

今回は、足立区保木間にある「元漕江公園」で講座を行いました。

緑の協力員（緑に関するボランティア）の方々の木や草花に関する豊富な知識による解説により、公園の魅力が詰まった講座となりました。樹木の特徴や名前の由来などを知ること、植物をより身近に感じることができました。

講座の目的

- ・植物の面白さ、不思議さ、魅力などをつたえる。
- ・公園を散策しながら身近なみどりを感じ楽しむことで、日々の生活に潤いを持つ。

解説中



メタセコイアとよく似た木(ラクウショウ)との違いも説明しました



葉や茎に特有のにおいがあり、春に白い花、冬に粘りのある赤い種子を出すトベラ



耐火性の強さから、庭木や街路樹によく使われるアオギリ



春先に幹や枝を切ると樹液が滴り落ちることから、「水の木」が名前の由来のミズキ



秋にはドングリがなり、葉は柏餅に利用されるカシワ

講座の最後に落ち葉でカードを作りました！



公園の楽しみ方が増えました。
(30代)

講師の方々のお話が、わかりやすく勉強になりました。(70代)

豊富な知識で木や草花について語って頂きました。(30代)

知らない植物を見ることができました。(50代)

参加者の声